

犬が「吐く」行為には、実は「嘔吐」と「吐出」の2種類があります。

「嘔吐」とは、胃の中のもの^{おうと}が食道を逆流して吐き出されることをいいます。

大抵の場合、おなかがゴポゴポッと動く、オエッとえづくなどの兆候があります。吐き出すものは消化中のもので、胃液が混じり酸っぱい臭いがすることもあります。また、胃液そのものの場合もあります。

一方で「吐出」は、食べたものが胃まで到達せずに食道から吐き戻されることです。

兆候はなく、突然吐きます。食事の直後に起きることが多く、未消化のものがそのまま

あ
ん
し
ん
！
ペ
ツ
ト
ラ
イ
フ
92

犬が吐いてしまったら

出てきたようにみえます。

犬によっては、勢いよく食べたために反射的に吐出することがあり、吐いたものをまた食べようとすることもあります。

それぞれ考えられる病気として、嘔吐では細菌やウイルスによる胃腸炎、消化管内への異物混入、腎臓、肝臓の病気、急性^{すいえん}膵炎、中毒などと多岐にわたります。吐出の場合は食道炎、食道内への異物混入、食道^{きょうさく}狭窄など、食道に原因がある場合がほとんどです。

嘔吐であれ吐出であれ、犬

は人よりも生理的に吐きやすい動物です。たまにみられる程度であれば問題ありません。

しかし、元気や食欲がない
▷下痢を伴うなど他の症状がある▷吐く頻度が高い（目安として1日4、5回以上）▷毎日吐く▷子犬や老犬一などの場合は早めに動物病院を受診しましょう。

嘔吐か吐出かが分かると治療がしやすくなることもあります。判断できた場合は、獣医に伝えてください。

（アニコム損保

獣医師 兵藤未来）